



## 「バーチャルファッション」「D2C」をテーマにファッションの最先端を学ぶ -Fashion Tech Seminar2020-

文化服装学院が文部科学省から委託を受けて開催しているゼミ「Fashion Tech Seminar 2020」。毎回、ファッション×テクノロジーを基軸として、さまざまなテーマでファッションの最先端を学んでいます。文化服装学院のほか、金沢文化服装学院（石川県）、香蘭ファッションデザイン専門学校（福岡県）もオンラインで参加し、日本のファッション教育のニューノーマルを追求しています。

10月7日（水）、14日（水）には、「バーチャルファッション」をテーマに、株式会社三越伊勢丹ホールディングス 仲田朝彦氏にご登壇いただき、同社が新たに参入したバーチャル市場への取組みをご講演いただきました。また、株式会社三越伊勢丹の多くの社員の方々にご協力をいただきながら、学生のグループワークやプレゼンテーションも実施されました。



仲田氏の熱いメッセージは、学生に刺さりまくり！！オンライン・オフライン問わず、真剣に学びに向き合う学生たちの姿がありました



グループワークでは、株式会社三越伊勢丹 HD 社員も加わり、活発なディスカッションが展開されました

各学校によるプレゼンテーションはどれもよく考えられており、特色のある提案がなされました

10月21日（水）には、「D2Cとファッション」をテーマに、3rd 株式会社 代表取締役 川村匡慶氏にご登壇いただきました。D2Cブランド運営やブランドコンサルティングなども手掛ける、今ホットなインキュベーションカンパニーの同社がどのように成長し、そして未来を見据えているのか。また、D2Cブランドの現状と課題など、今ファッション業界が注目する内容を、リアルに語っていただきました。



D2Cは奥が深い！！それを川村氏はひとつひとつ丁寧に解説いただきました

今回も学生によるプレゼンを実施。各自の独創的なアイデアに対し、「それはやったほうが良い」と後押ししてくれる川村氏

# Tokyo 新人デザイナーファッション大賞プロ部門4ブランドが発表！ 「Rakuten Fashion Week TOKYO 2021 S/S」 ONLINE コレクションの可能性



10月12日～17日の期間で開催された「Rakuten Fashion Week TOKYO 2021 S/S」では、支援中の4ブランドがONLINEにて21SSコレクションを発表しました。どのブランドも、それぞれの個性とネットワークを生かした仕上がりとなり、その後の展示会まで続く反響と共に、リアルなショーに引けを取らない効果を得たブランドも。『ヴォーグ・イタリア』の副編集長で、長く若手デザイナー発掘を手掛けているサラ・マイノから注目されたブランドもいくつかあり、次シーズンへの期待が高まります！

SHINYAKOZUKA → <https://rakutenfashionweektokyo.com/jp/brands/detail/shinyakozuka/>



meagrata → <https://rakutenfashionweektokyo.com/jp/brands/detail/meagrata/>



kaiki → <https://rakutenfashionweektokyo.com/jp/brands/detail/kaiki/>



BASE MARK → <https://rakutenfashionweektokyo.com/jp/brands/detail/base-mark/>

上から順に、シヤコズカはデジタルを駆使したハイパーな世界観を表現。メアグラティアはモノづくりのバックグラウンドと、関わる人々を紹介するリアルな動画に、アニメーションをプラス。カイキは、たった1分の中にメインとなるアイテムをしっかりと見せ、それを着た男女二人によるショートムービーを思わせる仕上がり。ベースマークは、キーカラーでもあるシトラスを発展させ、果樹園をランウェイに仕立てた。カイキとベースマークは、前述のサラ・マイノからベストオブタレントに選出された。詳しくは『VOGUE ITALIA』公式サイトまで。

<https://www.vogue.it/vogue-talents/gallery/rakuten-fashion-week-tokyo-primavera-estate-2021-best-of-talents>

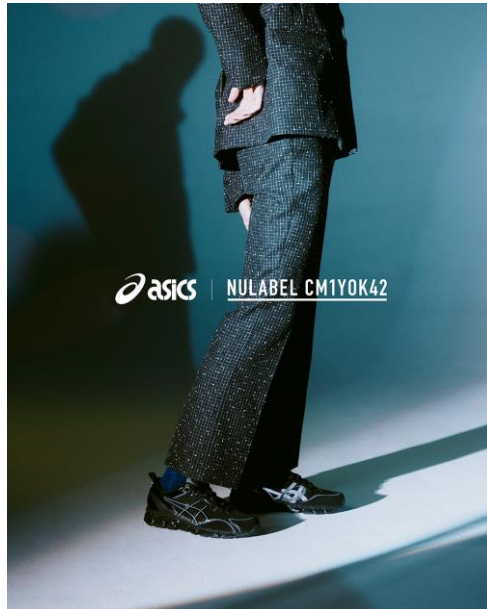
## HATRA のホームウェアレーベル「TWI」が好評

Synflux(<https://synflux.io/>)によるGAN(機械学習の一種)から、200万枚の画像をもとに新たに創られた「架空の鳥」のイメージを、ダブルジャカードで表現したニットがブレイク中のハトラですが、今シーズンさらに注目を浴びているのが、新たに立ち上げたホームウェアレーベルの「TWI」(トワイ)。性別と体形を問わないデザイン設計は、長見デザイナーが得意とするところ。ぜひ公式サイトで、ご覧ください！



21SSコレクション(左写真2枚)のテーマはOrnithopter(オーニソプター。鳥型飛行機など、翼を羽ばたかせることによって飛ぶ航空機のこと)。女性モデルが被っている帽子からデザインがスタートしたという。トワイ(写真右2枚)の素材は、着心地抜群の滋賀県産の高島ちぢみを使用。現在はオンライン販売のみ。 <https://hatroid.net/collections/twi>

# NULABEL CM1YOK42 と asics のコラボレーションアイテム発売中！



ニューレーベル シーエム1ワイ0ケイ42 (以下、ニューレーベル) とアシックスジャパンの初のコラボレーションアイテムが、10月23日に発売となりました。シューズだけでなく、ジャケットやパンツといったアパレルアイテムも。濱田デザイナーが得意とする、リフレクター素材を使用したフューチャリスティックなテイストと、スポーティなテイスト、そして機能がバランス良くミックスされています。シューズは女性にも人気が出そう！写真(上と左の計4点)は、いずれも、キャンペーンビジュアルから。



シューズは靴底周囲に衝撃緩衝材「GEL(ゲル)」を搭載して足裏全体のクッション性を高めた高性能ランニングシューズ「GEL-QUANTUM3606」をベースに、全体をブラックで統一。レイヤー仕立てのアップーにリフレクターを配し、内側にはアシックススパイラルのロゴにアシックスストライプを重ねてレイアウトすることで、独特な奥行きを持たせた。フィット感の調節が簡単にできるストッパーを付けたクイックシューレース仕様。ジャケットとパンツには再帰反射オーロラパイピングテープを効果的に使い、現代のストリートと機能美の融合を得意とするニューレーベルらしさ満載。取り扱い店舗を含む詳細はアシックススポーツスタイルの公式サイトまで。



## ■ アシックス スポーツスタイル

<https://www.asics.com/jp/ja-jp/mk/sportstyle>